

# 会社概要・株主メモ

## 会社概要 (2010年3月31日現在)

商号	株式会社ピーシーデポコーポレーション
事業内容	パソコン・ネットワーク総合専門店のPC DEPOTおよびパソコンの修理・技術サービスを提供するパソコンクリニックの直営・FC本部の経営
本社所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜三丁目1番地9 TEL 045-472-7795(代表)
会社設立	1994年8月
株式上場日	1999年10月
資本金	16億119万円
社員数	487人(連結)
連結対象子会社	株式会社イージェーワークス 株式会社ビー・ビー・マーケティング 株式会社ピーシーデポ九州

## 役員一覧 (2010年6月23日現在)

代表取締役社長	野島 隆久	常勤監査役	明石 榮三
専務取締役	酒井 茂彦	社外監査役	小野田 雅夫
取締役	濱松 謙至	社外監査役	山本 邦彦
取締役	羽江 三世士		
社外取締役	高山 秀廣		
社外取締役	井澤 秀昭		
社外取締役	大林 厚臣		

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の支払株主確定日	9月30日または3月31日 また、同日以外は取締役会決議により基準日を決定いたします。
公告の方法	電子公告により行います。 (ホームページ: <a href="http://www.pcdepot.co.jp">http://www.pcdepot.co.jp</a> ) なお、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人・特別口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(フリーダイヤル)

※株券電子化に伴い、株主様の住所変更等のお手続きは、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。



# 株主の皆さまへ

2010年3月期  
2009.4.1 ▶ 2010.3.31

株式会社ピーシーデポコーポレーション

JASDAQ  
証券コード: 7618

## 株主の皆様へ



### パソコン・インターネット・データの安全性向上に努めます

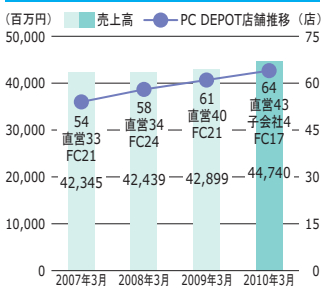
株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2010年3月期の営業概況におきましては、消費環境が厳しいなか、10月に新OS「Windows7」が発売され、パソコンの出荷台数は前年を上回るなど、その効果は一定量みられましたが、5月より開始された「エコポイント制度」は、パソコン関連商品が対象外であり、パソコン総合専門店の当社においては、相対的にマイナス効果となりました。下期よりエコポイント制度の逆風を受け、家電量販店との顧客獲得競争激化に伴う物販粗利率の低下・客数の減少が影響し、増収減益の結果となりました。

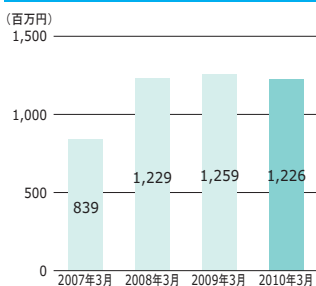
その中でも、サービス販売は順調に推移しました。技術サービスにおいては、新種ウイルスの広がりを受けて技術サービスを強化し、月額会員制保守サービス型商品(プレミアムサービス)においては、パソコン用データ通信やワイヤレス環境を設定した商品の発売がお客様に好評を頂き、会員数は約132,000名となりました。

店舗展開においては、大型店を4店舗開店、1店舗閉店を行い、また、7月より連結子会社となりました(株)ピーシーデポ九州は4店舗を運営しています。この結果、店舗数は直営43店舗、子会社4店舗、FC17店舗、合計64店舗となりました。家電量販店がインショップ方式によりFC展開をしている「パソコンクリニック」は4店舗開

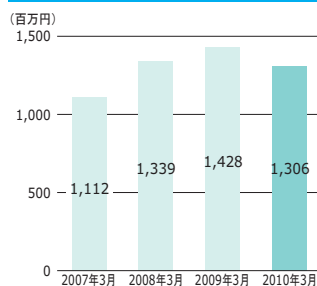
#### 売上高・PC DEPOT店舗推移



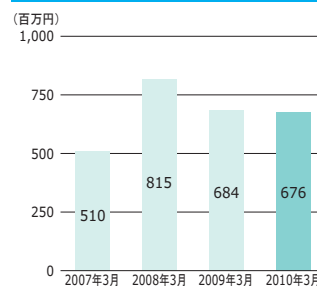
#### 営業利益



#### 経常利益



#### 当期純利益



2010年3月期連結売上高 **447億40百万円**  
 連結営業利益 **12億26百万円**  
 連結経常利益 **13億6百万円**  
 連結当期純利益 **6億76百万円**

店、1店舗閉店、合計24店舗となりました。

パソコンを取り巻く環境は、3Dのパソコン関連商品やスマートフォン等の発売、デジタル商品のインターネット化やネットワーク化など、日進月歩で変化しています。2011年3月期も、エコポイント制度による逆風を受ける可能性があります。当社では、取扱商品、関連した技術サービス並びに月額会員制保守サービス型商品(プレミアムサービス)にて、ワンストップでお客様に提供できるよう、商品とサービス面の強化・拡大を進めて参ります。また、大型店の出店と不採算店のスクラップを行い、関東圏にて店舗網の拡大、ドミナント化を図って参ります。

当社は、地域の皆様が「年齢・性別・所得・教育・居住地域」等により発生する情報社会における格差(デジタルデバイド)を店舗を通して解消し、それを店舗を通じて実現することが使命である、とCSRの基本方針を定めました。お客様がどこで購入したパソコンでも「無料診断」を実施するなど、地域のパソコン・インターネット・データの安全性向上に努めて参ります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

2010年6月

代表取締役社長 野島 隆久

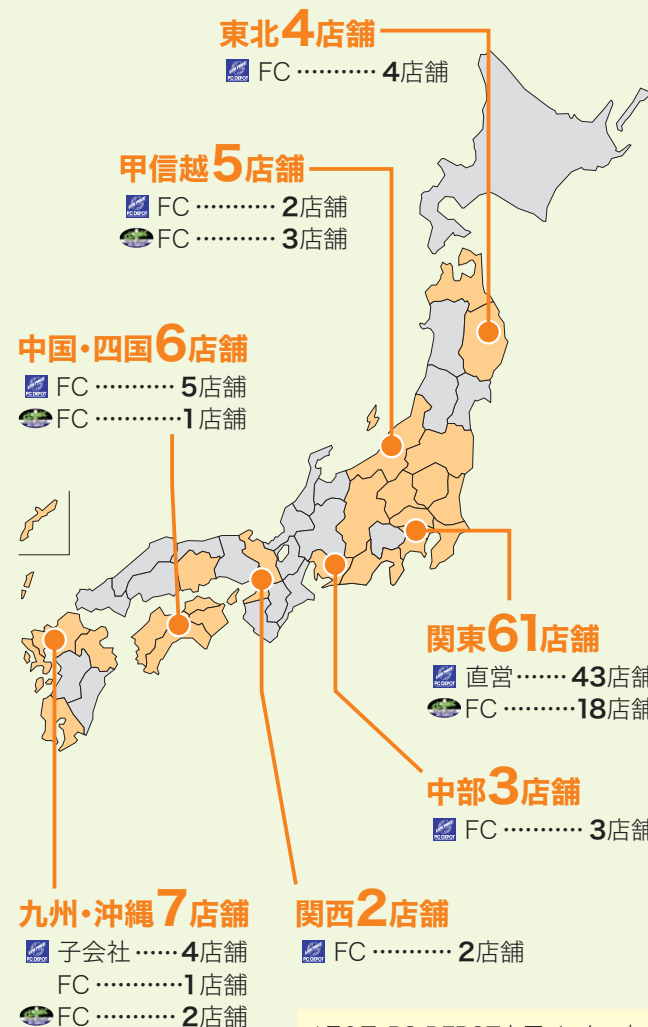
## 店舗一覧

2010年3月末現在

**88** 店舗



直 営……43  
 子会社……4  
 F C……17  
 F C……24

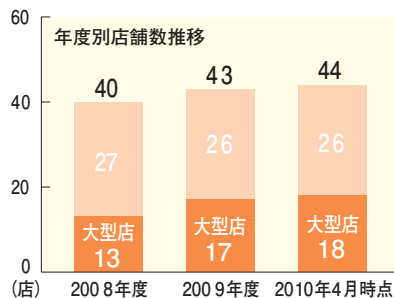


4月9日、PC DEPOT市原インター店(千葉県・直営)を開店しました。

店舗の詳細情報は、当社ホームページ「店舗情報」をご覧ください。  
<http://www.pcdpot.co.jp/shop/index.html>

# 今だからこそ大型ITソリューションストア作りに磨きをかけます

## PCデポは大型店へシフトしています



パソコン、インターネットに関するサービスをより多く提供できるように、500坪以上の大型店を増やしています。



大型店の出店と併せて、既存店のスクラップアンドビルドも行うことで大型店展開を進めています。

◀幕張インター店(800坪)  
(メルクス新習志野店を閉店し、2010年3月に移転、増床した店舗)



▼神栖店(900坪)



関東圏における店舗網のドミナント化を進めロードサイド出店を行っていきます。

## 4月に市原インター店(880坪)を開店しました



▲市原インター店

2010年度の新規出店予定(5店舗)のうち、市原インター店を開店し、今後2店舗の出店を決定しています。

2010年冬 静岡県富士市(500坪)  
2011年春 東京都八王子市(650坪)

## 取り扱い商品を増やしています

パソコン、周辺機器、パーツ、中古商品など、地域一番の品揃えに努めています。



▲パソコン売場



▲パーツ売場



◀デジカメ売場

今後は、ネットワーク対応機器、スマートフォン、3D関連商品、テレビなど、インターネットにつながる品揃えも強化していきます。



▲地デジチューナー売場



▲テレビ売場



◀スマートフォン売場

## テレビ販売コーナーを設置します



テレビとパソコンの連携など、ネットワークに対するお客様のニーズに応えられるよう、テレビの取り扱いを拡大し、店内へのテレビコーナー設置を決定しました。

## 「家庭内のネットワーク化」までPCデポが提供します

お客様に安心して便利にお使いいただくため、パソコンを中心とした「修理、技術メンテナンス・サポート」に加え、インターネットにつながる商品のネットワーク設定も積極的に取り組んでいます。



▲ネットワークソリューション売場  
(パソコン・ゲーム機等のネットワーク化・ワイヤレス化を紹介)



▼パソコンクリニック  
(修理、技術メンテナンス・サポートを承るカウンター)

## より良いサービスを提供するため スタッフの専門性・店舗運営の効率化をさらに高めています

▼研修風景  
(技術者のための研修機関を設置し、スキル向上を図る)



▼店舗での研修風景



安全運営のバックアップや監査を本社からも行うことで、店舗内外の安全確保、店舗運営の効率化を図っています。



▲サイバーセキュリティセンター  
(本社から、F/Cを含めた全店の店内カメラで目視パトロールを実施)

店舗拡大に伴う人材採用、品揃え強化に備えた教育を進めています。

情報社会における格差(デジタルデバイド)の解消を店舗を通じて実現するために、地域のお客様に「なくてはならない店」と思ってもらえるよう、今期も取り組みます

# 株式の状況

## 株主優待券

毎年3月31日現在の株主名簿に登録された、4株以上ご所有の株主様に対して、当社にて使用できる株主優待券を年1回、以下の基準により贈呈させていただいております。本株主優待券は、当社運営全店舗、フランチャイズ店舗及び当社運営のインターネットショッピングサイトにてご利用いただけます。

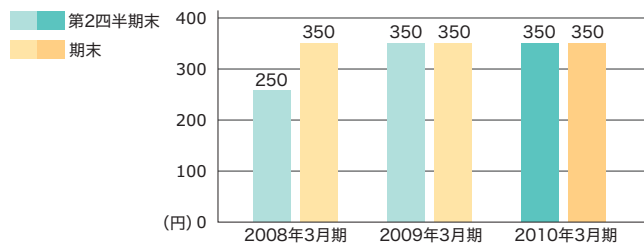
所有株式数	優待内容
4株以上	1,000円相当の株主優待券
10株以上	2,000円相当の株主優待券
50株以上	10,000円相当の株主優待券
100株以上	20,000円相当の株主優待券
400株以上	50,000円相当の株主優待券
1,000株以上	70,000円相当の株主優待券



## 配当実績

当社は財務体質の強化と内部留保の充実を考慮し、連結配当性向20%程度を目安に安定した利益還元を基本方針としております。

2010年3月期は1株当たり第2四半期末配当金350円、期末配当金350円(年間配当金700円)を配当させていただきます。



## ホームページのご案内



会社情報、IR情報、店舗情報など、タイムリーに情報を発信しております。是非、ご利用下さい。

<http://www.pcdepot.co.jp>

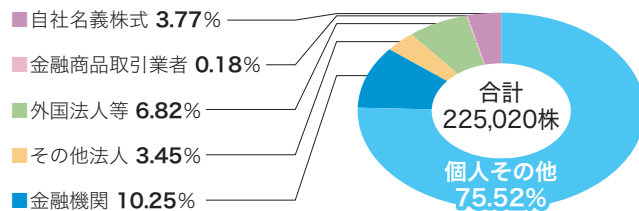
## 株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	890,000株
発行済株式総数	225,020株
株主数	3,301名

## 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
野島 隆久	98,276	45.38%
自社名義株式	8,484	-%
メロンバンクエヌエートリーテイクライアントオムコバス	8,000	3.69%
株式会社みずほ銀行	7,880	3.63%
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,461	2.52%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	5,000	2.30%
野島 絹代	4,845	2.23%
エフジーシーエヌブイトリーティアアカウントタクサブル	3,042	1.40%
野島 佳子	2,400	1.10%
バンクオブニューヨークジーシーエムクライアントアカウント ジェイビーアールティアイエスジーエフイーエイシー	2,377	1.09%

## 所有者別分布状況



## 店舗情報

- 各店舗情報
- 最新チラシ
- お客様サポートなど

## 会社情報/IR

- IRライブラリー
- 月次データ
- 社長から皆様へ
- 株式情報など

「トップQ&A」では、毎月社長より当社の戦略や事業についてお答えしております。



# 財務諸表

## 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)	2009年3月期 2009年3月31日現在	2010年3月期 2010年3月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	9,156	10,511	1,355
固定資産	6,717	7,442	725
<b>資産合計</b>	<b>15,873</b>	<b>17,954</b>	2,081
<b>負債の部</b>			
流動負債	5,687	6,472	785
固定負債	1,794	2,743	949
<b>負債合計</b>	<b>7,481</b>	<b>9,216</b>	1,735
<b>純資産合計</b>	<b>8,392</b>	<b>8,738</b>	346
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,873</b>	<b>17,954</b>	2,081

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

### Point

【資産の部】新店と子会社の店舗増加等によるたな卸資産、有形固定資産等増加により、前年より20億81百万円増加しました。

【負債の部】新店と子会社の店舗増加等による短期・長期借入金等増加により、前年より17億35百万円増加しました。

## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円、%)	2009年3月期 自2008年4月1日 至2009年3月31日	2010年3月期 自2009年4月1日 至2010年3月31日	増減率
<b>売上高</b>	42,899	44,740	4.3
<b>売上総利益</b>	10,685	11,557	8.2
<b>販売費及び一般管理費</b>	9,425	10,331	9.6
<b>営業利益</b>	1,259	1,226	△2.7
<b>経常利益</b>	1,428	1,306	△8.6
<b>税金等調整前当期純利益</b>	1,318	1,265	△4.0
<b>当期純利益</b>	684	676	△1.1

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨て、比率は小数点第二位を四捨五入して表示しております。

### Point

【売上高】新店と子会社の店舗増加、サービス売上高の増加等により、前年比104.3%の増収となりました。

【売上総利益】サービス売上高は順調でしたが、物販粗利が減少しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)	2009年3月期 自2008年4月1日 至2009年3月31日	2010年3月期 自2009年4月1日 至2010年3月31日	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	1,846	182	△1,664
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△2,646	△1,561	1,085
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	746	1,330	584
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	1,802	1,753	△49

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

### Point

【営業活動によるキャッシュ・フロー】新店増によるたな卸資産等の増加がありました。税金等調整前当期純利益、減価償却費等により1億82百万円増加しました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】固定資産の取得、敷金保証金等への支出により15億61百万円減少しました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】借入金の増加等により13億30百万円増加しました。

## 商品別売上高

(単位:百万円、%)	2009年3月期 自2008年4月1日 至2009年3月31日	2010年3月期 自2009年4月1日 至2010年3月31日	増減率
パソコン本体	10,180	10,787	6.0
モニター	1,549	1,372	△11.4
プリンタ	942	936	△0.6
周辺機器	12,444	12,367	△0.6
アクセサリ・サブライ	4,747	5,197	9.5
ソフト	1,512	1,526	1.0
OA機器・中古・その他	3,975	2,837	△28.6
<b>商品売上高計</b>	<b>35,352</b>	<b>35,025</b>	△0.9
ロイヤリティ他収入	562	559	△0.5
技術サービス・手数料	4,420	6,443	45.8
<b>パソコン等販売事業計</b>	<b>40,335</b>	<b>42,027</b>	<b>4.2</b>
<b>インターネット関連事業計</b>	<b>2,563</b>	<b>2,712</b>	<b>5.8</b>
<b>合計</b>	<b>42,899</b>	<b>44,740</b>	<b>4.3</b>

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨て、比率は小数点第二位を四捨五入して表示しております。

### Point

【パソコン】販売台数は前年比116.9%、販売金額は前年比106.0%となりました。

【技術サービス・手数料】技術サービス、保守サービス型商品等の順調な推移により、増加しました。